

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	12月	6日	(記入者) 横山真紀子	
取材参加者	荒井	垣内	久門	島田	鶴田
	横山				
取材対象先	桜井市：慈恩寺区の木造阿弥陀如来坐像				

所在地	桜井市慈恩寺390、阿弥陀堂				
所有者（取材 対応者）名	慈恩寺区（阿弥陀堂の西野寛山住職 夫人の***様）（個人情報守秘）			連絡先 0744-42-7703	
				PCアドレス	
取材申込	申込先・行政名など：慈恩寺阿弥陀堂 西野寛山住職				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造阿弥陀如来坐像 1992（平成4）年6月18日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	優美温雅な作風は平安時代後期に各地に広まった定朝様の作例の中でも、正当風を継承する優品。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	消火器あり。ご住職は消防団にも属しておられ、防火の意識も高い。	阿弥陀堂の横の庫裏にお住まいであり、異変に気づきやすく、安心である。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	イノシシ、サル、シカ、イタチなど様々な動物は出没するが、被害はない。	特に問題はない。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	ご住職は、美しい絵入りの御朱印の授与をされたり、トゥクトゥクを購入して周辺案内をされたりと、人を呼ぶための工夫を凝らしておられる。地域振興の意識が高く、積極的に活動されている印象を受けた。とても魅力ある取り組みで、今後も継続していただくことを願う。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

当該文化財が安置されている阿弥陀堂は無住寺の時期もあったが、現在のご住職が入られて以降、きれいに管理されている。ご住職は書道教室を開いて、子どもに習字を教えたり、住職夫人も隣接の玉列（たまつら）神社の行事をお手伝いされたりと地域に溶け込み愛される寺の姿がうかがえた。ご住職もまだお若く当面問題はないと思われる。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	12月	6日	(記入者) 横山真紀子	
取材参加者	荒井	垣内	久門	島田	鶴田
	横山				
取材対象先	桜井市：慈恩寺区の木造阿弥陀如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造阿弥陀如来坐像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
 <p>阿弥陀堂外観</p>	 <p>境内のケヤキ (樹齢900年以上)</p>
 <p>文化財の由緒などを記入</p>	 <p>所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入</p>
<p>来迎印を結ぶ等身大の阿弥陀如来坐像。檜材の寄木造りで約900年前の平安後期の作とみられる。均整の取れたプロポーションに適度な肉付けもみられ、衣部は衣文をやや多めに表しているがよく整理されている。典型的な定朝様の如来像で中央の温雅な作風をよく継承する作例とみられる。</p>	<p>慈恩寺はもとは隣接する玉列神社の神宮寺で、融通念仏宗の寺。かつては周辺に堂宇が点在していたとみられるが、現在は阿弥陀堂を残すのみとなっている。境内のケヤキは樹齢900年以上といわれ、ご神木として地域住民に親しまれている。玉列神社一帯は椿が多く、玉椿大明神とも言われ、毎年3月には椿まつりが開かれている。</p>